

むすびめ通信

Musubime works for the better society

Bible:エペソ人への手紙4:16



湯本沙友里 ニュースレター

Vol.015 2023年2月発行



クリスマスのお祝い会

Dream to Shine free schooling project



皆さんに支えられて2021年2月に開始したこのプロジェクトは2年目に入りました。現地スタッフのデレジェは村の方々との信頼関係を大切にしながら日々の仕事の後にフリースクール(放課後学級)を行い続けています。今回の通信では、デレジェから送られてきたレポートから、地域の方々との関係とクリスマスイベントの様子をご報告いたします。文化も併せて知っていただけますと嬉しいです。

アカコ村で生徒と家族、地域の人々のためのクリスマスのお祝会を開催しました。

報告者:デレジェ・ギルマ(Dereje Girma)
DTSプロジェクトマネージャー/教師
エチオピア、オロミヤ州



エチオピア正教の暦を使うエチオピアでは毎年、1月7日にクリスマスをお祝いします。その2日前の1月5日に、学校の敷地を用いてクリスマスのお祝い会を開催しました。エチオピアでは、こういったお祝いによって地域全体の隣人や家族の交わりが大いに促進されます。地域のつながりがとても強いエチオピアでは、人々は積極的に隣人を誘って家族みんなでこういったイベントに参加してくれます。エチオピアが「祝祭の国」と呼ばれるゆえんです。



最も大きな祝祭のひとつであるクリスマスは人々はワクワクしながら食べ物(ドロワットと呼ばれる鶏肉の煮込み料理など)を準備し、飲み物を持ち寄って集まり、踊ってお祝いします。また、人々は家族や友人に贈り物を贈り合います。エチオピアの公立校でも祝われる唯一の宗教的な祝祭がクリスマスなのです。

沙友里が地域のために開催するという素晴らしい提案をし、そのための支援を申し出てくれるまでは、私たちは生徒のための小さなクリスマス会を開く計画をしていました。この提案を聞いたとき私はワクワクしましたし、私たちのプロジェクトを地域の人々に知ってもらうためのまたとない機会だと考えるようになりました。

村には家でクリスマスをお祝いすることもできないほど貧しい家庭もありますから、このような地域全体のクリスマスイベントはそのような方々にとってクリスマスを祝う素晴らしい機会を提供することにもなります。

準備



支援金を受け取った私たちは準備にとりかかりました。まずはクリスマスイベントに備えて、多くの時間と労力をかけて学校の敷地を入念に清掃しました。次に村から10キロメートルの距離にあるエチオピアの首都アジス・アベバに出向き、クリスマスのための会場の飾りを購入しました。さらに、地域の人々が皆、このイベントに招待されているということを告知するが必要がありました。村の各所に宣伝用のポスターを貼り、生徒たちを通して家族や地域の人々に伝えてもらいました。私たちのフリースクールの活動は地域の人々から喜ばれ信頼されていたので、多くの住民がこのクリスマスイベントのことを聞いたとき「参加したい」と言ってくれました。すべての準備が完了したのはイベント当日の前夜でした。

クリスマスのお祝い会当日

イベントは朝の9時に始まり、午後1時に終わりました。生徒たちによる歌と踊り、食事と飲み物、ゲーム、大きなケーキ、コーヒーとお茶、お菓子などなど、多種多様な楽しみが用意されました。また、4人の当選者を決めるくじ引き大会もありました。私が思うにこの地域で未だかつてなかったほどに素晴らしいクリスマスイベントでした。子どもたちは大喜びでしたし、地域の人々は大いにイベントを楽しんでくれました。

もちろん、ただ楽しいクリスマスを過ごすことだけが目的ではなく、彼らを応援し、支援し、励ましてくれる人の存在を知ってもらうことも重要でした。



お祝い時に焼くケーキのような大きいパン

日本の人々からの支援のおかげでこのイベントが開催できたことを参加者に伝え、これからこの地域で行われる支援活動にとっても日本の仲間たちの応援が大切だと伝えました。また、地域の人々に子どもたちが学校にいることが幸せだと理解してもらい、教育が未来を作っていくということを知ってもらうこともこのイベントの目的でした。イベントが終わった後多くの親たちが驚きをもって学校での子どもたちの姿を喜んでることを教えてくれました。学校でのクリスマスイベントは大成功でした。私も学校のスタッフも親たちも、幸せそうな子どもたちの顔を見て大いに励まされました。素晴らしい心をもった日本の支援者の皆様と一緒にこのプロジェクトが担えたことに心より感謝いたします。私の育った地域のために皆様がくださった貢献に心の底から感謝を申し上げます。

皆様に素晴らしい 2023 年が訪れますように！



デレジェとの繋がり

私(湯本)とデレジェは10年前に、ストリートチルドレンを救済するNGOのボランティアとして出会いました。当時大学生だった彼やその仲間たちと一緒に、夜の路上を徘徊する子どもたちの元へ行き、話をしたり食事をしたりする取り組みをしました。

エチオピアの未来を良くしていくにはどうしたらいいかを何度も議論し合ったことが懐かしいです。デレジェがなぜこのプロジェクトを行うのか、その想いと考えもご紹介いたします。

デレジェの紹介(本人より)

私がこのプロジェクトに情熱を燃やしているのは、幼少期から大学卒業までの教育を無償で受けることができたからです。5歳のときに両親を亡くし、田舎を出て都市部で叔父と暮らすようになりましたが、この家族は機能不全だったため、路上に出て生活するようになりました。そこでストリートチルドレンを救うための非営利団体「WSG」に出会いました。この団体は必要なものを提供し、学校に通えるようにしてくれました。週末やウィークデーに教会に通うようにもなりました。私の人生を大きく変えたのは教育と教会だと思っています。

ストリートチルドレンを助けるこの団体で私は働き、多くを学びました。でも、多くの援助団体の存在にもかかわらず路上生活の少年少女はいなくなりませんし、むしろ状況は悪化しているようにも感じられます。私はより戦略的な、少年少女が路上に行くのを予防するような働きが必要なのではないかと考えるようになりました。そのときに必要な物質的なものをストリートチルドレンに援助しても、むしろ状況が悪化するのを見てきましたから、私たちの方策は長期的視野に立つことにしました。すぐに結果が表れるわけではないですし、10年経っても目に見えるようになるかどうか分かりません。しかし、持続可能な私たちで人々の人生を変えるというのは長期的な働きですし、私たちはその目標に向けてこれからも働きを続けていく所存です。



2013年のエチオピアにて
教師たちとのコーヒー休憩中。
(デレジェ:写真右)

新商品を
追加掲載しま
した!

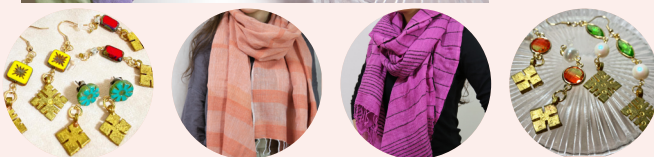
オンライン・ショップ

【エチオピアン・クロス】

<https://ethiopia.handcrafted.jp/>



つくる人とつかう人がクロスする
エチオピアと日本の繋がりを
Ethiopian Cross



エチオピアの売春女性やシングルマザーの支援や就労につながるストールやアクセサリーなどを販売しています。

連絡先

湯本 沙友里 Sayuri Yumoto

Email: sayuri@karashi.net

WEB: <https://www.musubime-works.com/>

ホームページからも活動報告をご覧いただけます。



支援のための寄付方法

支援をもってご協力くださる方はお手数ですが下記の口座にお振込みください。報告はニュースレターにて随時お知らせしますので、配信ご希望の方はご連絡ください。

①ゆうちょ振替口座

口座番号：00830-9-137685

名義：湯本沙友里

他行等から 店名：〇八九店 当座 0137685

②ゆうちょ振替口座

口座番号：00180-0-300201

名義：FVI

★通信欄に「湯本 エチオピア指定」とご記入ください。

支援金はどちらの口座も同様に活動に関わる経費に充てられます。支援者の方へは年度ごとの会計報告をお送りしていますので、ご確認ください。

FVI名義の口座では、湯本が所属する非営利団体「声なき者の友」の輪の税理士より監査を受けて年次報告いたします。